

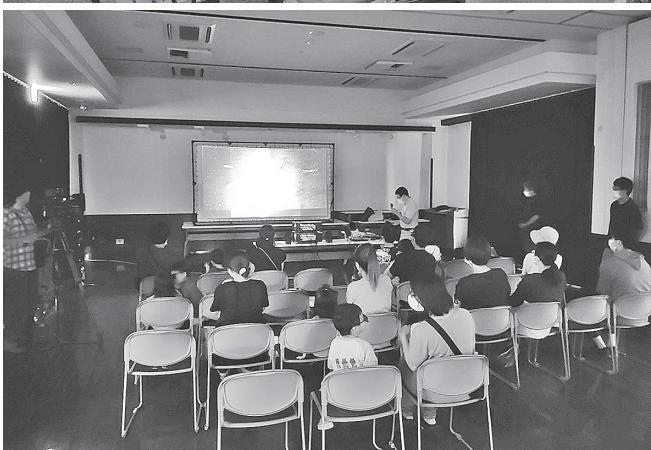
2025年12月1日



公益社団法人
石川県理学療法士会

ニュース
No.165

編集人 山本拓哉
発行所 公益社団法人
石川県理学療法士会事務局
金沢市戸水1丁目25
☎ (076) 254-1431
発行人 北谷正浩
URL <http://www.ishikawa-pt.com/>



上段：アクティビティーセンター（介護予防教室）、川島第2団地畠プロジェクト
下段：9/28復興イベント（関係者集合写真④鈴木亜美氏、3Dプラネタリウムの様子）

士会ニュースの項目

巻頭言：「学びと繋がりを深めるために」

第34回石川県理学療法学術大会 大会長 平木 清喜 2

会長メッセージ：「“支える力”を次代へ。変化の時代に、理学療法士が果たすべきこと」

会長 北谷 正浩 3

会長行動記録 4

議事録 5

県士会だより：「学術局、事務局、生涯学習推進部、社会事業局、石川地方会、

2025イベントスケジュール 12

特派員がゆく：「人の輪が大事！平時から顔が見える関係性作り」 21

Active 23

自由投稿 25

賛助会員名簿 26

編集後記 28

「学びと繋がりを深めるために」

第34回石川県理学療法学術大会
大会長 平木 清喜

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。



この度、第34回石川県理学療法学術大会を令和8年3月1日（日）に北陸大学の太陽が丘キャンパスにて開催いたします。理学療法士の活躍の場は臨床現場だけでなく、地域社会へと拡大している中、日ごろの業務だけでは得られない知識や経験を得るための一つの方法として県士会での活動があります。県士会活動には様々な分野での関わりがあり、会員同士の繋がりを築きながら学びを深めるよい機会となっていることと思います。

そこで、今大会のテーマを「あなたの参加で変わる石川県の理学療法の未来～県士会活動を通じて学びを深めよう～」としました。会員一人一人が参加協力することで、「理学療法」が地域社会に貢献することができ、個人としても県士会としてもこれからも更なる成長につながっていくことと思っております。

今年度、県士会ではビジョン検討委員会の活動により「Mission / Vision / Value」を明確にし、10年後のありたい姿に向けての方向性を示しました。それぞれの考え方や見方があるかと思いますが、まずは会員の皆様にしっかりとお伝えする機会が必要であると思い、ビジョン検討委員会より全体講演会で講演していただきます。また、参加型の企画として「社会事業局スポーツ障害予防事業部」と「社会事業局地域リハビリテーション推進事業部」の2つの事業部の活動について、体験を通して知っていただく機会を作りました。講演と体験の2部構成となっておりますので、活動の意義を理解したうえで体験していただくと、より学びが深まることと思います。オープンスペースには県士会活動紹介コーナーを設置し、地区活性局の活動をはじめ、各部局の紹介などを展示しますので、足を運んでいただければと思います。

演題発表につきましては、昨年好評だった「フレッシャーズセッション（1年目から5年目の会員対象）」を今大会も設定しました。また、演題発表後には学術局の活動「ミニ症例検討会」や「ミニレクチャー」を企画しており、聴講者が質問等しやすい環境でより学びを深める場として参加していただければと思います。

よりよい理学療法を提供するために、理学療法士としての学び方は一つではありません。学びを深めるためにも今一度、県士会について知る機会を作っていただければと思います。県士会活動からも学べることが沢山あることを知った時に、「あなたの参加で変わる石川県の理学療法の未来」、その可能性が高まることと思っております。

学びと繋がりを深めることができる学術大会となるよう、スタッフ一同銳意準備を進めております。当日は多くの会員の皆様とお会いできることを楽しみに、会場でお待ちしております。みなさん、ぜひ名刺をお持ちになってご参加してください。

会長メッセージ

「“支える力”を次代へ。変化の時代に、理学療法士が果たすべきこと」

(公社) 石川県理学療法士会
会長 北谷 正浩

会員の皆さん、2025年も残すところわずかとなりました。本年も地域の医療・介護・保健・福祉の現場でご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

このたび、本年10月10日に日本理学療法士協会の創立60周年記念式典にて、理学療法業務功労者 厚生労働大臣表彰が執り行われ、石川県から、荒木茂 元石川県理学療法士会会长、後藤伸介 石川県理学療法士会監事、そして私(北谷正浩)の3名が受賞しました。

これは、石川県理学療法士会が長年にわたり一丸となって地域に根ざした活動を継続してきた証でもあります。ともに歩んでくださった会員の皆さん、地域の関係者の皆さんに、深く感謝申し上げます。

また、記念式典では、これから理学療法士像として「生活と社会を支える専門職」「政策形成に関わる職能」「地域包括ケアの核となる存在」が語られました。

スポーツの世界では、2025年、ロサンゼルス・ドジャースの山本由伸投手は、ワールドシリーズ連覇において先発と抑えで異例の活躍を見せました。分業制の現代MLBで、役割を超えて貢献する意志と準備は「信頼と覚悟」の象徴でした。

私たちの業界もまた、現代は“分業の時代”です。急性期・回復期・生活期など、多様なリハビリの場があり、支援の内容も細分化され、多職種チームや地域のなかで「何を任されるか」「どの場面で頼りにされるか」が問われています。

機能訓練だけでなく、生活支援・再発予防・地域連携・政策形成にまで関わるようになった今、必要なのは“信頼に応える専門性”と“責任を引き受ける覚悟”です。

しかし、どの場面にあっても、理学療法士に問われるのは「自分の持ち場で、全体のゴールを見据えて動けるか」という視点です。制度の狭間や支援体制が不十分なとき、「それは自分の担当ではないから」と一歩引くこともできます。しかし、誰かが一歩踏み出すことで、チームや地域が救われることがある。

私たちもまた、「ここで自分が動かなければならない」、「この患者さんの生活を支えるラストピースになりたい」。そういう覚悟をもって、臨床・地域・教育・災害支援に関わりたいと思います。

“自分だけがよければいい”ではなく、“チームで地域をどう支えるか”を考えて行動できること。これこそが、山本投手の投球スタイルに通じる、プロフェッショナルの本質だと私は感じています。

2026年度、石川県理学療法士会では、理学療法士が「地域住民のために、責任を持って動ける専門職」であることを可視化する1年にしたいと考えています。どうか皆さんもそれぞれの持ち場で、「最後を任される存在」を目指してください。

また、10月には、高市早苗氏が日本で初めて女性として内閣総理大臣に就任されました。新政権では、社会保障改革、地域政策、災害への備えや医療・介護分野の賃上げ・待遇改善なども政策として掲げられています。変化の時代に、理学療法士もまた、「医療人」から「地域をつくる担い手」へと視点を広げることが求められています。

そのために、2026年は、「支える力」をさらに“つなげ、広げ、かたちにする”年にしたいと考えています。時代の変化をしなやかに受けとめ、専門職としての誇りを胸に、次代を担う理学療法士として共に歩んでまいりましょう。

本年も誠にありがとうございました。どうぞ良い年をお迎えください。



会長行動記録（2025年8月1日～10月31日）

行動日	行動内容	会議名	場所	方法
2025/8/4	[打合せ]	石川県理学療法士会人材育成部打合せ		WEB
2025/8/7	[打合せ]	羽咋市ケアプラン点検事業（NTT データ打合せ）		WEB
2025/8/7	[出席]	北陸大学外部評価委員会	金沢市	対面
2025/8/7	[打合せ]	金沢西病院シルリハ委託事業		WEB
2025/8/7	[出席]	石川県理学療法士会理事会	金沢市	参集
2025/8/12	[打合せ]	能登町シルリハ事業		WEB
2025/8/17	[出席]	石川県理学療法士会社会事業局能登ブロック会議	穴水町	参集
2025/8/18	[打合せ]	白山市委託事業打合せ		対面
2025/8/20	[出席・挨拶]	野々市市シルリハキックオフセミナー	野々市市	参集
2025/8/26	[打合せ]	七尾市シルリハ事業打合せ		WEB
2025/8/26	[出席]	日本理学療法士協会会長私の勉強会		WEB
2025/8/28	[打合せ]	羽咋市ケアプラン点検（外部講師）		WEB
2025/8/31	その他	石川県理学療法士会理学療法週間事業	かほく市	参集
2025/9/2	[参加]	石川県理学療法士連盟幹事会		WEB
2025/9/3	[打合せ]	訪問リハ従事者研修会打合せ		WEB
2025/9/12	[打合せ]	羽咋市ケアプラン点検事業説明会		WEB
2025/9/16	[打合せ]	石川県PT/OT協議会幹事会		WEB
2025/9/22	[打合せ]	七尾市一体的実施事業説明会		WEB
2025/9/24	[打合せ]	中能登町シルリハ2級指導士打合せ		WEB
2025/9/25	[打合せ]	能登町通いの場支援打合せ		WEB
2025/9/25	[打合せ]	日本理学療法士会協会第4回介護予防領域検討委員会		WEB
2025/9/26	[打合せ]	羽咋市ケアプラン点検事業説明会		WEB
2025/9/28	[講演]	東北理学療法学術大会	福島県	参集
2025/9/29	[打合せ]	石川県理学療法士会3役会		WEB
2025/9/30	[打合せ]	七尾市一体的実施事業説明会		WEB
2025/10/1	[打合せ]	全国地域リハビリテーション合同研修大会		WEB
2025/10/1	[出席]	金沢市介護保険運営協議会	金沢市	対面
2025/10/2	[打合せ]	宝達志水町委託事業	宝達志水町	対面
2025/10/3	[講演]	全国地域リハビリテーション合同研修大会	岩手県	参集
2025/10/6	[講演]	能登町シルリハフォローアップ研修会	能登町	参集
2025/10/7	[出席]	JRAT 北陸・東海ブロック会議		WEB
2025/10/8	[打合せ]	志賀町シルリハ指導士会全国交流会		WEB
2025/10/9	[出席]	石川県理学療法士会理事会	金沢市	対面
2025/10/10	[出席]	日本理学療法士協会60周年記念式典・表彰式	東京	参集
2025/10/11	[出席]	日本理学療法士会協会組織運営協議会	東京	参集
2025/10/15	その他	羽咋市ケアプラン点検事業	羽咋市	対面
2025/10/15	[打合せ]	能登地区ブロック会議		WEB
2025/10/16	[打合せ]	石川県リハビリテーションセンター研修会		WEB
2025/10/22	[打合せ]	能登町シルリハフォローアップ研修		WEB
2025/10/25	[出席]	東海北陸理学療法学術大会士長会議	福井県	参集
2025/10/27	[打合せ]	羽咋市ケアプラン点検事業（NTT 打合せ）		WEB
2025/10/29	[打合せ]	第2回石川県理学療法士会学会準備委員会		WEB
2025/10/31	[講演]	日本神経理学療法学会学術大会	金沢市	参集

理事会議事録

令和7年度 第4回 公益社団法人石川県理学療法士会 理事会議事録

1. 開催日時 令和7年8月7日(木)
19:00～21:00
2. 開催場所 石川県リハビリテーションセンター、
Zoomによるオンライン
3. 出席者 理事
現地：北谷正浩、霜下和也、狩山信生、諏訪勝志、成宮久詞、平木清喜、森健太郎
オンライン：木村創史、石田修也、江村匠史、川原誓子、藤川諒也、丸居夕利佳、山本拓哉、四谷昌嗣
(15名／15名)
監事 オンライン：後藤伸介、北戸丈晴
表彰委員会委員長
オンライン：清水大地
書記 オンライン：宮地諒
4. 欠席者 理事：なし 監事：なし
5. 議長の選任
理事総数の半数以上の出席をみたので、議長に狩山信生を互選にて選出した。
6. 議事録署名人の選任
定款第31条の規定により、次の者が選出された。
会長 北谷正浩
理事 霜下和也、狩山信生
監事 後藤伸介、北戸丈晴
7. 議案及び議事の顛末
第1号議案 第54回医療功労賞（主催：読売新聞社）の候補者推薦について
清水表彰委員会委員長より、読売新聞社主催の第54回医療功労賞候補者の推薦について、表彰対象・応募資格の説明がなされた。

表彰対象・応募資格とこれまでの実績に基づき、諏訪勝志氏を第54回医療功労賞候補者に推薦する旨の提案がなされた。

丸居理事より、推薦するにあたり表彰に関する実績の根拠資料が必要となることから、今後は根拠資料の収集・管理をどの部局が担うのかを検討していく必要があるのではないかとの意見が出された。

審議の結果、候補者の推薦について、承認した。

第2号議案 情報配信運用規程について

山本理事より、従来使用していた「メールマガジン運用規程」では情報配信の対象が多岐にわたる現状や今後の対応が困難となってきたことから、新たに作成した「情報配信運用規程」についての説明がなされ、今後そちらを使用していく旨の提案がなされた。

北谷会長より、提示された「情報配信運用規程」について、他の規定と整合性をとるため、管理責任者を会長とする案が示された。

後藤監事より、本件の運用規定はメディアネットワーク部の管轄であることから、管理責任者は事務局長が適切ではないかとの意見が出された。

審議の結果、運用規定の使用について、承認した。

また、今後責任者等を含む細則について、実動に合わせて作成することとなった。

第3号議案 会員異動 (2025.6/02～2025/8/01)

新入会24名、復会1名、休会2名、退会13名 県内異動（改姓等含む）14名、県外異動6名（転入4名、転出2名）
(7月末現在 正会員1218名、休会238名、名誉会員2名、賛助会員34社)

審議の結果、承認した。

8. 報告事項

1) 事業報告

<社会事業局>

スポーツ障害予防事業部（成宮）

1. 高校野球サポート事業

1) 事前研修会

- ・3回実施し、各回の参加者は37-39名であった。

2) 大会サポート

- ・熱中症の件数（特に選手）が昨年度よりも多かった。

- ・外傷による救急搬送等もあったが、大きな問題もなく終えることができた。

- ・プライマリーケア等への対応は今後の課題であり、外部講師招聘等も含め検討する。

2. アスリートコンディショニング

- 7月23日に1件、いしかわ総合スポーツセンターにて実施した。

3. その他

- ・例年開催されている運動器の健康・日本協会主催の成長期のスポーツ障害予防講習会について今年度も開催を予定している。

- ・サポート活動に関して、今年度から正式に謝金という形にすることになった。

地域リハ推進事業部（丸居）

1. シルバーリハビリ体操普及啓発事業

- ・能登町（参加者10名）と白山市（参加者17名）が終了した。

- ・眉丈会介護予防体操指導士養成事業のフォローアップ研修会について、全3回のうちの2回が終了した。

- ・シルバーリハビリ体操指導士養成講師認定について、8月2-3日に8名が修了した。

- ・集団理学療法研修を12月13日（土）に行う予定。

- ・珠洲市シルバーリハビリ体操普及啓発事業について、珠洲市的一体的実施のフレ

イル対策教室を7月24日から開始した。

2026年3月まで1回／月行う方向で進めている。要支援1から要介護2の者を対象に、午前、午後にわけて実施する予定。理学療法士の派遣は、午前、午後各1名（体力測定については2名）を予定している。珠洲市一体的実施の予算では理学療法士8名派遣分の予算を立てているが不足するため、不足分は能登を考える委員会より捻出予定。

業務推進部（丸居）

1. 職能発展事業

10月19日に男女共同参画と保険外分野に関する研修会を企画している。金沢グループターミナルにて保険外分野の取り組み紹介＋ピラティス体験会を予定している。定員は15名を予定。

保健福祉部（平木）

1. 社会事業局保健福祉部 疾病予防班・介護予防班

介護予防・健康増進・生活習慣病予防支援に関する会員の派遣等

・石川県健康福祉部健康推進課より「令和7年度特定健診・特定保健指導従事者研修会（初任者研修）」における講師派遣依頼があった。「運動指導のポイント」について、金沢大学附属病院リハビリテーション部矢部拓哉氏に講師依頼をしている。

キッザケアの運営協力

・石川県健康福祉部厚生政策課より「キッザケアいしかわ」への協力依頼があり、受諾した2025年11月8日（土）、産業展示館3号館にて開催予定。8月8日（金）に石川県健康福祉部厚生政策課との打ち合わせを予定している。

2. 社会事業局保健福祉部 子ども班 学校保健分野に関する取り組み

・森本小学校育友会より、児童が保護者や地域の方の職業を体験する「おしごとの森」への出展協力の依頼があり、受諾した。2025年11月15日（土）、金沢市森本小学校で開催予定。地区活性局とも連携して、企画運営を進めていく予定。

＜学術局＞

生涯学習推進部（森）

1. 第2回学術研修会

・「登録理学療法士更新についてシンポジウム～各施設での取り組みについて～」というタイトルで2025年7月25日に石川県リハビリテーションセンターにて開催した。片田圭一氏、山川友和氏、森安隆宗氏から登録理学療法士更新についての説明と県士会の現状、各施設の取り組みについて紹介・ディスカッションを行った。

2. その他

・県士会主催事例検討会・研修会を交互に毎月行っていく予定。症例検討会については各地区で対面にて行うことを模索している。介護分野に向けた研修会についても検討中。

生涯学習推進部（江村）

1. 石川県理学療法教育協議会

1) 臨床実習指導者講習会

・金沢大学にて10月4-5日に対面にて開催予定であり、現在受講者募集中（8月15日締め切り）

※昨年参加者の状況を鑑み、今年度は1回/年のみ開催。

2) アドバンスセミナー

11月10日に江草典政氏（島根大学医学部附属病院）に講義いただく予定。

＜地区活性局＞

地域リハ普及啓発支援事業等（木村）

1. 地域リハ普及啓発支援事業

・31/46件実施した。

2. 県士会ネットワーク強化事業

・片田圭一氏を中心に急性期理学療法ネットワーク構築を進めている。公立病院にて施設基準等の実態調査は終了した。現在、民間等病院についての調査を進めている。それらに基づく報告会は10月頃の開催を予定している。

3. 各ブロック事業

・石川中央ブロック：ネットワーク事業を12月14日開催予定。
・能登ブロック：11～12月に開催予定。
・加賀ブロック：11～12月に開催予定。
・地域リハ活動フォローアップ研修：1月頃開催予定。

4. 共催事業

管理者研修会

・第2回以降は、外部講師のサポートによる2年1クールでの企画として霜下理事、丸居理事を中心に検討中。

＜事務局＞

政策企画部（石田）

・参議院選挙にて田中まさし候補は落選した（前回より得票数が低下）。
・自民党石川県連への要望書提出内容について意見があれば、8月10-16日を目途に石田理事へ連絡する。

メディアネットワーク部（丸居）

・7月1日に石川県理学療法士会のホームページのリニューアルが完了した。
・ホームページの使用に際し、事業報告（写真、開催日、概要等）を事業ごとに作成することを検討する。

研修関連事業の計画（霜下）

1. 研修関連事業日程

- ・各部局が日程調整をしやすいようニュース・メルマガ等で情報発信をしていく。

2. 部員・事業協力者公募

- ・ホームページの事業協力者の公募フォームを使用している。
- ・部員不足について、特に保健福祉部、メディアネットワーク部は、新たな公募方法を検討していく。

3. その他

1) 会議参加報告

リハビリテーション専門職活用支援事業担当者連絡会

- ・特別支援学校の医療等外部専門家との連携事業
- ・市町事業に関わるリハ専門職協力者名簿
- ・養成研修：年内に2回開催予定

総務部（諒訪）

1. 公益法人インフォメーションのサイトを通じて、C2-1 事業報告等を提出

2. 協賛会員会費納入状況（7月31日現在）：

- A会員 2施設
B会員 4施設
C会員 23施設

2) 文書動向（諒訪）（2025.6/01～2025/7/31）

事務局より以下の報告がされた。

- | | | | |
|--------|------|------|-----|
| 文書受理発送 | 受理文書 | 公文書 | 22件 |
| | | その他 | 61件 |
| 発行文書 | 公文書 | 108件 | |
| | その他 | 23件 | |

令和7年度 第5回 公益社団法人石川県理学療法士会 理事会議事録

1. 開催日時 令和7年10月9日（木）

19:00～21:00

2. 開催場所 石川県リハビリテーションセンター、Zoomによるオンライン

3. 出席者 理事

現地：北谷正浩、霜下和也、狩山信生、諒訪勝志、石田修也、江村匠史、川原誓子、成宮久詞、藤川諒也、森健太郎

オンライン：木村創史、丸居夕利佳、山本拓哉

(13名／15名)

監事 オンライン：後藤伸介、北戸丈晴

顧問 オンライン：片田圭一

書記 オンライン：宮地諒

4. 欠席者 理事 平木清喜、四谷昌嗣

監事 なし

5. 議長の選任

理事総数の半数以上の出席をみたので、議長に狩山信生を互選にて選出した。

6. 議事録署名人の選任

定款第31条の規定により、次の者が選出された。

会長 北谷正浩

理事 霜下和也、狩山信生

監事 後藤伸介、北戸丈晴

7. 議案及び議事の顛末

第1号議案 士会名誉会員について

諒訪理事より、協会名誉会員となった士会員が士会名誉会員となっていない場合の対応について議案が提出された。士会名誉会員は正会員の権利を失うことから、理事会で推薦を行った後に対象会員の意向を確認し、そのうえで手続きを進めることが提案された。また、その手順を規程に追記することも併せて提案された。

審議の結果、継続審議とした。

第2号議案 日当支払い基準について

諏訪理事より、同一日に複数の事業を実施した場合やオンライン会議に同時に参加した場合などの日当支払い基準について、議案が提出された。

後藤監事から、日当の取り扱いについて、あくまで報酬ではなく費用弁済であることの確認がなされた。

審議の結果、継続審議とし、日当・会議費・報酬のそれぞれの取り扱いについて、霜下理事を中心に整理のうえ検討を進めることとなった。

第3号議案 北陸三県役員交流会について

諏訪理事より、今年度は石川県が幹事県であることから、オンライン開催で、日程を1月31日（土）または2月7日（土）13時から開催する案を他県士会へ確認することが提案された。

審議の結果、承認した。

第4号議案 石川県理学療法学術大会運営方法の変更（内規の提案）について

藤川理事より、これまで学術大会の運営を主に規模の大きい施設が担ってきたため、運営施設が固定化しやすい状況にあることを踏まえ、石川県内をいくつかのブロックに分け、その単位で大会運営を担う体制への変更およびそれに伴う内規の策定が提案された。

木村理事より、運営が難しいブロックもあるため組織化の実態に合わせたフォローが必要である旨の意見が述べられた。

また、丸居理事より、学会運営部における各ブロック担当部員の育成および配置が必要である旨の意見が述べられた。それに対して森理事より、学会運営部の役割も含め今後検

討する必要がある旨の意見が述べられた。

審議の結果、運営体制の変更および内規策定について、承認した。

第5号議案 会員異動（2025.8/02～2025/10/01）

新入会6名、復会2名、休会2名、退会2名 県内異動（改姓等含む）14名、県外異動2名（転出1名、転入1名）
(9月末現在 正会員1223名、休会239名、名誉会員2名、賛助会員34社)

審議の結果、承認した。

8. 報告事項

1) 事業報告

＜社会事業局＞

スポーツ障害予防事業部（成宮）

- ① 高校野球サポート事業
 - ・今年度最後の大会サポートを行い、対象者数は延べ30名であった。
- ② 障がい者スポーツサポート
 - ・J-Starプロジェクト（石川県内のパラスポーツへのサポート活動）として、2年後に石川県での開催に向けて選手発掘・育成事業の視察を行った。
- ③ その他
 - ・成長期のスポーツ障害予防講習会・指導者講師養成講習会として、今年度は北信越の少年野球の指導者講習会を9/20（土）に行う予定。人選等、準備を進めている。
 - ・2026年2月にスポーツ障害予防事業部の研修会を講師も含めて検討中である。

地域リハ推進事業部（丸居）

シルバーリハビリ体操普及啓発事業

- ・志賀町、珠洲市、七尾市のシルバーリハビリ体操普及啓発事業、金沢西病院介護予防体操指導士養成事業が終了した。

- ・10月14日に全国シルリハ指導士フェス
タが開催されるため、部員が参加予定
- ・12月13日に集団理学療法研修開催予定
- ・珠洲市のフレイル対策教室 総数15名
の参加があり、担当者は3名体制で行っ
ている。

業務推進部（丸居）

- ① 理学療法週間事業
 - ・8月31日にアル・プラザ津幡にて腰痛
予防イベントが開催され、67名の地域
住民が参加した。
 - ・当日は養成校学生もスタッフとして参加
したとともに、理学療法士を志望してい
る高校3年生1名が事業見学・運営補助
として参加した。
- ② 職能発展事業（共同参画、保険外、産業
保健等）
 - ・10月19日に修田氏を講師とした保険外
分野の取り組み紹介+ピラティス体験会
の開催を予定している。
- ③ 調査事業
 - ・事務局人材育成部とコラボアンケートを
実施する予定（12月の県士会ニュース
に同封予定）。
- ④ 管理者研修会
 - ・株式会社エイトドア 下田 静香氏を講師
として管理者の育成に向けた研修会の開
催を予定している。

保健福祉部（霜下）

介護フェスタがキッザケアいしかわに変更
となり、それに向けて準備を進めている。

＜学術局＞

生涯学習推進部（研究部）（森）

- 県士会主催症例検討会・第3回学術研修会
研修会
- ・加賀地区での症例検討会として県士会と
共催という形をとした。

- ・今後、各地区との共催という体制を整え
ていく予定。

生涯学習推進部（江村）

- ① 石川県理学療法教育協議会
 - ・今年度の臨床実習指導者講習会が終了し、
41名が参加した。
 - ・アドバンスセミナーについて、江草典政
氏を講師とし、11月10日開催予定。
- ② 卒前人材育成班
 - ・学生・養成校との交流企画を検討中。

学会運営部（藤川）

第34回 石川県理学療法学術大会

- ・全体講演会テーマ：「10年後のありたい
姿に向けて～理学療法士として、石川
県理学療法士会として～」（仮）
- ・県士会活動紹介と体験：公募による応募
がなかったため、大会長、準備委員長、
研修企画部で2事業部を選定予定
- ・口述発表（一般演題・フレッシャーズ演
題）：10月1日より演題登録開始（11月
30日まで）
- ・演題登録システムは、日本理学療法士協
会の演題登録システムからGoogleを活
用した方法に変更する
- ・ホームページの運用開始（9月10日～）
- ・準備委員会を開催日程（第2回：10月、
第3回：12月、第4回：2026年1月）

＜地区活性局＞

地域リハ普及啓発支援事業等（木村）

- ① 地域リハ普及啓発支援事業
 - ・七尾市、中能登は北谷会長・諏訪理事、
金沢市は支援会議の担当者、野々市市は
浅川氏が主に担当している。
- ② 県士会ネットワーク強化事業
 - ・片田圭一顧問を中心に進めている。
 - ・施設基準等の実態調査を実施。実態調査
結果報や取り組み報告会の開催を予定し

ている。

③ 各ブロック事業

石川中央

- ・第46回健康づくりフェア：104名参加
- ・福祉のつどい金沢2025：32名参加
- ・はだしの王国：10月13日 開催予定
- ・ネットワーク事業：12月14日（中枢疾患の取り組み紹介、交流）
- ・ネットワーク事業：11月28日（介護事業所理学療法士の情報交換会を企画中）

能登ブロック

- ・羽咋市ケアプラン点検支援事業 開催予定
- ・宝達志水町ヘルスケアサポーター 開催予定
- ・ネットワーク事業：11月30日（バスによる能登視察、現地での研修会）開催予定

＜事務局＞

メディアネットワーク部（丸居）

- ・Webリニューアルキャンペーンを実施している。

総務部（諏訪）

1. 年賀状について 年賀状じまいの案内を記載する。
2. 斎藤会長との意見交換会を予定し日程調整中（11月中を予定）
3. 次回11月13日（木）は、拡大役員会となるため、担当理事は各部長へ出席を依頼する。
4. ワークフロー申請には、2025.10.1版フォーマットを使用する。

その他

・霜下理事より、石川県理学療法士会の「Vision」2025-2035における年度重点事業（2025）の確認および今後の事業・予算計画の説明がなされた。

2) 文書動向（諏訪）（2025.8/01～2025/9/30）

事務局より以下の報告がされた。

文書受理発送	受理文書	公文書	20件
		その他	22件
発行文書	公文書		21件
		その他	18件

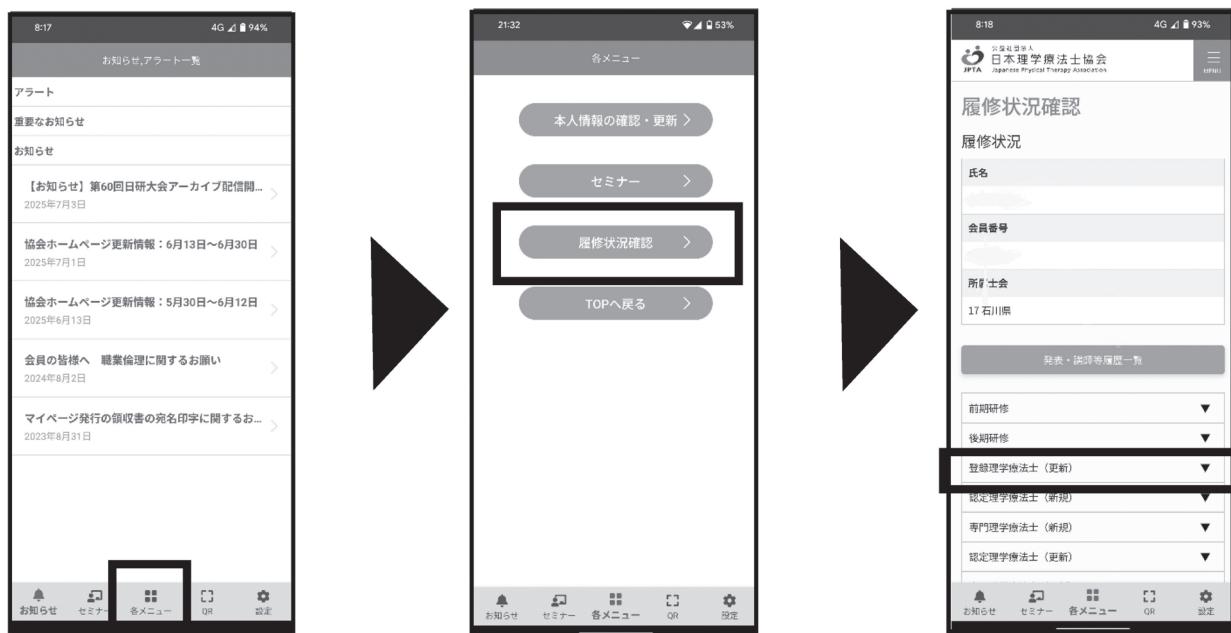
県士会だより

～学術局からのお知らせ～

登録理学療法士更新に関するお知らせ

2022年4月より新生涯学習制度が開始となっており、登録理学療法士は5年ごとの更新制です。2022年4月に登録理学療法士を取得された会員のみなさまは、更新に必要なポイント取得の活動期限が2026年12月31日までとなります。更新ポイントの取得を計画的に進めていただくとともに、下記の県士会「承認」研修会の開催でもポイント取得が可能なためご活用ください。

会員マイページ専用アプリで「各メニュー」→「履修状況確認」→「登録理学療法士（更新）」をタップして頂くとご自身の登録理学療法士更新ポイントが確認できます。



詳しくは右のQRコードより日本理学療法士協会の案内をご確認ください。協会マニュアル→

県士会「主催」事例検討会・研修会のお知らせ

2022年4月より新生涯学習制度が開始となっており、登録理学療法士は5年ごとの更新制です。2022年4月に登録理学療法士を取得された会員のみなさまは、更新に必要なポイント取得の活動期限が2026年12月31日までとなります。更新ポイントの取得を計画的に進めていただくとともに、下記の県士会「承認」研修会の開催でもポイント取得が可能なためご活用ください。

詳細は後日ホームページやメルマガなどでご案内いたします。ご参加お待ちしております。

県士会「承認」事例検討会・研修会の開催申請のご案内

2022年度より新生涯学習制度が開始されており、各施設で導入に苦労されているかと思います。下記に開催要件を記載いたしますので、ご確認の上、多くの開催を期待しております。

★県士会「承認」事例検討会（後期研修Eのポイントが取得可能です）

協会マニュアル▶



『開催要件』以下すべての要件を満たすこと

- (1) 申請者（座長）は登録理学療法士（休会者や会員権利停止者は対象外）であること。
- (2) 1症例の発表（質疑応答を含む）時間は、可能な限り推奨時間（30分以上）で開催すること。
- (3) 必ず選択する講義テーマ（後期研修E1～E3）に応じた内容で開催すること。
- (4) 症例ごとに発表者、聴講者の履修管理ができること。
- (5) 履修コマ数は「1回の発表で1コマ」「1回の聴講で1/3コマ（3回の聴講で1コマ）」とすること。
- (6) 参加費を徴収しない（無料で開催する）こと。
- (7) 入退室管理が行えること。
- (8) 質疑応答等を設け、講師と参加者の双方向の疎通を可能とすること
- (9) 迅速かつ正確な履修登録のため、読み取りが可能な対象者へはQRコード受付を推奨します。
(QRコードの読み取りは、会員マイページ専用アプリの事前ダウンロードが必要です)

*注意事項として、当日時間内に参加受付を行うこと、参加登録は1回のみで修正不可

『開催申請について』

- (1) 申請者〔座長〕は自身のマイページから申請を行います。座長のみ申請が可能であり、マイページ以外からの申請はできません。
- (2) 申請は「事前申請」に限ります。石川県理学療法士会では、申請期日は研修会開催の2週間前までといたします。マイページ上から申請期日を超過して申請された場合は、否認とさせていただきます。予めご確認の上ご申請ください。
- (3) 開催日が近づいても申請中（承認も否認もされていない）の場合は、必ず時間に余裕をもって、本会にお問い合わせください。
- (4) 1申請で複数の症例検討会を同時申請はできません。1開催ごとに申請してください。
- (5) 申請の「承認」「否認」を問わず、必ず通知メールが座長に届きます。
また、マイページからも申請の承認状況（申請中、承認、否認）が確認できます。

★県士会「承認」研修会（登録理学療法士の更新ポイントが取得可能です）

協会マニュアル▶



『開催要件』以下すべての要件を満たすこと

- (1) 申請者は登録理学療法士であること。
- (2) 講師が1名以上いること。
- (3) 講義時間は30分以上とすること。上限は定めない。

*講義時間とは休憩を含まない実質の研修時間指す。

- (4) 学術大会（学術集会）や症例検討会ではないこと、学会主催や共催ではないこと。
 - (5) 営利を目的とした研修会ではないこと。（※ただし、資料代等の徴収は可）
 - (6) 参加者の入退室管理が行えること。
 - (7) 質疑応答等を設け、講師と参加者の双方向の疎通を可能とすること。
 - (8) 企画内容に最も即したカリキュラムコードを1つ選択し設定すること。
 - (9) WEBシステム等を利用したオンライン開催も主催者の判断により可能とするが、以下の要件を満たすこと。
 - 1) 参加者の管理ができること。
 - 2) 双方向により質疑応答等の疎通が可能であること。ただし、開催当日に限らない。
- (10) 研修終了後（開催日より2週間後まで）、研修会資料を下記メールアドレスに添付してお送り下さい。
- E-mail（学術局宛） ishikawaptag@gmail.com
- *研修会後の資料送付を忘れる方が多いため、期限内の資料送付をお願いします。

『開催申請について』

- (1) 申請者[登録理学療法士]は自身のマイページから申請を行います。登録理学療法士のみ申請が可能であり、マイページ以外からの申請はできません。
- (2) 申請は「事前申請」に限ります。石川県理学療法士会では、申請期日は研修会開催の2週間前までといたします。マイページ上から申請期日を超過して申請された場合は、否認とさせていただきます。予めご確認の上、ご申請ください。
- (3) 1申請で複数開催分を同時申請はできません。1開催ごとに申請してください。
- (4) 申請の「承認」「否認」を問わず、必ず通知メールが申請者に届きます。
また、マイページからも申請状況（承認待ち、承認、否認）が確認できます。

第34回石川県理学療法学術大会のご案内と演題募集のお知らせ

第34回石川県理学療法学術大会

大会長 平木 清喜

準備委員長 中村 孝佳

会員の皆様におかれましてはますます健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、第34回石川県理学療法学術大会を下記の日程にて開催いたします。今大会では、日ごろの業務だけでは得られない知識や経験、そして会員同士のつながりを深めていただける場にしたいと思っております。また、演題も募集中ですので奮ってご応募していただき、先輩会員からの暖かい指導を受ける機会として活用していただければと思います。年度末のお忙しい時期ではありますが、同期や仲間を誘って参加していただけると幸いに存じます。

＜開催要項＞

- 日 時：令和8年3月1日（日） 9:00～16:00（受付 8:30～）
- テマ：「あなたの参加で変わる石川県の理学療法の未来～県士会活動を通じて学びを深めよう～」
- 場所：北陸大学 太陽が丘キャンパス（石川県金沢市太陽が丘1丁目1）（※6ポイント）
- 役員：大会長 平木 清喜（石川県リハビリテーションセンター）
副大会長 犬山 信生（金沢リハビリテーションアカデミー）
準備委員長 中村 孝佳（石川県立中央病院）
- 内 容
 - 全体講演会：テーマ「県士会活動を通じて学びを深めよう」（90分：※1.5ポイント）
【講演1】テーマ：「(仮) 10年後のありたい姿に向けて～理学療法士として、石川県理学療法士会として～」
講師：県理学療法士会 ビジョン検討委員会 委員長 霜下 和也 氏
 - 【講演2】テーマ：「(仮) スポーツ障害予防に関する取り組み紹介」
講師：県理学療法士会 社会事業局スポーツ障害予防事業部（調整中）
 - 【講演3】テーマ：「(仮) シルバーリハビリ体操普及推進への取り組み紹介」
講師：県理学療法士会 社会事業局地域リハビリテーション推進事業部
担当理事 丸居 夕利佳 氏
- 県士会活動体験（60分：※1ポイント）
【実演体験1】社会事業局スポーツ障害予防事業部
【実演体験2】社会事業局地域リハビリテーション推進事業部
- 一般演題：口述発表のみ（一般枠とフレッシャーズ枠）
新人から5年目の会員の方が症例発表していただけるフレッシャーズセッションを設けます。気軽にご応募ください。
- ミニ症例検討会（30分：※0.5ポイント）
フレッシャーズセッション終了後に症例検討会を実施する予定です。症例について深掘りし、参加者で検討しあえる場として活用していただければと思います。
- ミニレクチャー（30分：※0.5ポイント）
一般枠の分野に応じた内容に関するミニレクチャーを実施する予定です。質問等しやすい環境で、より学びを深める場として参加していただければと思います。

※登録理学療法士の更新ポイントまたは認定・専門理学療法士の更新点数の付与には、日本理学療法士協会マイページからの申込みが必要です。受講後のポイント申請はできませんので、ご注意ください。

- 大会参加費：県内会員 事前登録¥1,000、当日参加¥2,000、非会員 ¥4,000
県外会員 事前登録¥2,000、当日参加¥3,000
学生 無料（但し、理学療法士有資格者は会員扱いとする）
※事前登録の際は、原則クレジットカードでの支払いとなります。当日参加の支払いに関しては現在調整中です。

＜演題募集要項＞

まだまだ演題募集中！多数のご応募をお願いいたします

- 応募期間：令和7年10月1日（水）～11月30日（日）12月15日（月）まで延長
- 応募方法：第34回石川県理学療法学術大会ホームページ内の演題登録ページより、登録をお願いいたします。 URL : <https://34gakkaiishikawa-pt.com/>
- 問い合わせ先：第34回石川県理学療法学術大会 準備委員長 中村 孝佳
〒920-8530 金沢市鞍月東2丁目1番地 電話:076-237-8211 E-mail:ipptac34@gmail.com



QRコード

＜事務局からのお知らせ＞

～士会員のみなさまへ～

年会費請求の手続きや士会郵送物等に影響がある場合がございます

マイページ登録内容のご確認及び随時更新のご協力をお願ひいたします

※日本理学療法士協会 HP 内各種手続き情報を元に以下に表記しています（詳細情報はコチラ→）



〈重要①〉 翌年度年会費納入について

【納入期限】

前年度 3月 31 日（クレジットカード払い請求：前年度 2月下旬）

【上記期限日までに納入が確認できなかった場合】

会員資格の喪失により、退会の手続きをさせていただくことがあります

【ご確認のお願い】

振替指定口座残高、クレカ期限、金融機関営業日、マイページ情報等

〈重要②〉 次年度異動・休会・退会等の申請手続きについて

随時受付けますが、その申請内容が、次年度 4月 1日からの登録情報に反映されますので、前年度 1月 1日～2月 20日までの手手続きをおすすめいたします

〈重要③〉 年会費割引制度について

割引額：通常金額 10,000 円 → 割引後 2,000 円

【育児休業割引】 育児休業期間中に割引申請を行った方について、翌年度の年会費を割引する制度（※育児休業給付金支給決定通知書写しデータ要添付）

【シニア割引】 満 65 歳以上かつ会員歴 25 年以上の在会会員で割引申請を行った者について、以降の年会費を割引する制度（※原則として、2月 20 日までの申請により、翌年度の年会費に割引適用を開始し、以降自動継続）

【海外会員割引】 割引適用となる年度の海外在住予定期間が原則 7 ヶ月以上あり、渡航期間が計 12 ヶ月以上で、割引申請を行った方について、翌年度の年会費を割引する制度（※在留カード（レジデンスカード）有効期間明記箇所写しデータ要添付）

＜お問い合わせ＞

公益社団法人 石川県理学療法士会 事務局

〒920-8204 石川県金沢市戸水1丁目25

TEL 076-254-1431

FAX 076-254-1432

Mail info@ishikawa-pt.com



症例検討会 開催報告

— 若手会員を中心に活発な議論が交わされた学びの場 —

開催概要

2025年9月26日（金）19時～21時、やわたメディカルセンターにて、生涯学習推進部・加賀地区共催による症例検討会が開催されました。今年から各地区で症例検討会を開催し、日々の臨床にて直面する課題や疑問を共有し、参加者全体で評価や介入方法を多角的に検討することを目的としています。臨床推論を整理し、同じ医療圏を支える他施設の視点からも学ぶ貴重な機会として、毎回多くの参加者に好評をいただいている。

発表内容

今回は2題提示されました。

症例①「歩行時の躊躇に対し股関節周囲の筋力増強運動を行い、歩行能力拡大を図った症例」

発表者：斎藤詠美氏（やわたメディカルセンター）

症例②「左大腿骨頸部骨折を呈し退院支援に難渋したが、多職種協働により独居再開できた症例」

発表者：古嶋ほのか氏（芳珠記念病院）

座長は上野弘樹氏（芦城クリニック）

コメンテーターは松浦淳教氏（北陸病院）森健太郎氏（済生会金沢病院）が担当し、各症例に対して多面的な意見交換が行われました。

会の様子

発表では、評価の進め方、治療戦略の立案、患者との関わり方など、幅広いテーマで活発な議論が展開されました。発表者からは、以下の感想が寄せられました。

「術後の機能低下に関して、術前状態の把握の重要性を再認識できた」

「多くの先生方から助言をいただき、今後の臨床に活かせる学びとなった」

参加者からも、

「臨床にすぐ活かせる具体的な学びが多かった」

「他施設の先生方の考え方を知る貴重な機会だった」

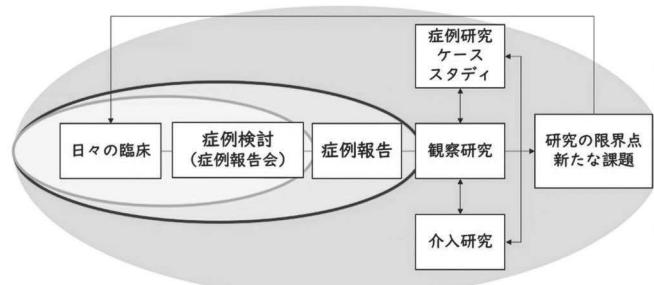
といった声が多く聞かれ、終始、和やかかつ活気ある雰囲気の中で会が進行しました。

今後に向けて

今後も各地域での症例検討会を開催し、近隣施設間での互いの学びの機会を継続的に設けてまいります。

そして本会では、原則、事例（患者の環境や、多職種を含む検討）検討ではなく、症例（患者の疾患や症状に焦点）検討を中心に日頃の実際の臨床での意思決定に関わる悩みや経験を共有したいと考えております。

今後の症例検討会にて、ぜひ皆さまの現場での経験をお寄せいただき、より実りある学びの場を共に創っていければ幸いです。



国澤洋介・他：臨床活動に必要な症例検討。理学療法-臨床・研究・教育。2014;21(1):8-11。

お問い合わせ先：生涯学習推進部 Mail : ishikawaptag@gmail.com

第1期

管理者育成講座

例年の単発の管理者研修会とは異なります！
本講座は、1年間に全3回で構成予定（①基礎講座 ②情報交換会 ③フォローアップ講座）であり、今回は第1回に該当します。継続して参加できる方を優先して募集いたします。

理学療法部門およびリハビリテーション部門の管理運営に必要な基本的スキルを学ぶとともに石川県内の管理職間の情報共有と連携を促進し、よりよい部門運営につながるネットワーク構築を目的としています。

2025年12月21日（日）9:30 – 12:30
*受付開始 9:15

金沢商工会議所 2階 大会議室
金沢市尾山町9番13号

【対象】

- 現在または将来的に理学療法部門およびリハビリテーション部門の管理・運営を担う方（施設での役職は問わない）
- 研修会・懇親会ともに参加可能な方
- 次年度の管理者研修会にも継続して参加する意思のある方

【内容】

「人を中心としたマネジメントの基礎を学ぶ」
部門運営のために必要なコミュニケーション・チームづくり
リーダーシップ等について学ぶ

石川県理学療法士会
会員のみ 募集人数

20名

管理者育成講座後は懇親会！

時間 13:00 -
会場 金沢ニューグランドホテル
「スカイダイニングロウ」
会費 2,000円（予定）



株式会社エイトドア
下田 静香 先生



参加申込

二次元バーコードよりお申し込みください

締切：2025年12月7日（日）

申し込み多数の場合は抽選とさせていただき、
12月10日までに結果をお知らせいたします。

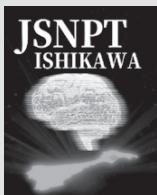


企画担当・問い合わせ

社会事業局 業務推進部 丸居 夕利佳

MAIL : gyomu@ishikawa-pt.com





日本神経理学療法学会 石川地方会

Neuro Cafe Link

2025
12
Vol. 2

【学びとつながりを広げる地方会チーム！】運営メンバーの紹介

石川地方会は、神経理学療法の標準化や学術活動の支援を取り組みながら、座談会スタイルの勉強会「Neuro Cafe」を開いています。今回は、その活動を盛り上げている運営メンバーをご紹介します。

リーダー

内山 圭太
(金沢赤十字病院)

サブリーダー

岡崎 太洋
(加賀市医療センター)

広報部

- 遠藤 壮馬
(小松こども医療福祉センター)
- 坂井 登志高
(金沢脳神経外科病院)
- 長森 由依
(北陸大学)

企画部

- 野島 圭祐
(JCHO金沢病院)
- 都志 翔太
(KKR北陸訪問看護ステーション)
- 浦田 恵
(済生会金沢病院)
- 荒木 隼人
(恵寿総合病院)

研究部

- 山本 雅樹
(芳珠記念病院)
- 橋本 直之
(金沢大学附属病院)
- 大川 雄一郎
(株式会社Solis 福祉用具の窓口FLOS)
- 高田 勇
(加賀市医療センター)

【Q&Aでお届け！】リーダーとサブリーダーの紹介

リーダー
内山 圭太
(うちやま けいた)

サブリーダー
岡崎 太洋
(おかざき たかひろ)



Q

興味を持っているテーマは？

A

内山：生活期の患者の身体活動量
岡崎：脳卒中後の肩関節疼痛
リハビリ評価の工夫

Q

Neuro Cafeで取り扱いたいテーマは？

A

内山：女性や子育て世代が参加しやすい会
の在り方、各施設での教育システム
岡崎：研究の知見を臨床にどう還元するか

Q

趣味は？

A

内山：ジョギング、家庭菜園
岡崎：妻と料理やドライブすること

Q

これから参加を検討している方へ

A

内山：とにかく一回参加してみて下さい
岡崎：気軽に参加できる学び場です。
ぜひ一度お越し下さい！

【加賀へ初出張！大盛況！】第7回Neuro Cafe開催

Neuro Cafeは、これまで金沢で開催してきましたが、9月には初めて加賀市で開催しました。今回は第23回日本神経理学療法学会学術大会公認の応援企画として、副大会長の大畠光司先生（北陸大学IoHセンター）から、「根拠と反証 -フェイクとリアルを分かつもの-」をテーマにご講演いただきました。オンラインも併用して全国に発信し、135名の方にご参加いただきました。ポバーの反証主義を通じ、理学療法を批判的に検証し、議論する重要性を実感できる講演でした。



【Slackでつながる！】臨床 × 研究コミュニティ

石川地方会では、Slackというオープンチャットを活用し、臨床や研究に関する疑問を共有・解決する取り組みを行っています。Slackは、県内の理学療法士ならどなたでも無料で参加可能です。大学教員も参加しており、専門的なアドバイスも受けられます。気軽に質問や意見交換をしてみませんか？

Slackで届いた質問例

研究に関する質問：

身体活動量の評価はなぜ推奨されているか？

臨床に関する質問：

急性期のリハビリの負荷量と栄養について

ご興味のある方は、石川地方会事務局のメールアドレスまでご連絡ください

NEXT ➔ 次回、Neuro Cafe Link は広報部メンバーの紹介！どうぞお楽しみに☕

日本神経理学療法学会 石川地方会事務局 問い合わせ先：janpt.ishikawa@gmail.com



2025 イベントスケジュール

石川県理学療法士会の研修会やイベントなどの予定をご案内いたします。
内容詳細は、後日ホームページ・メルマガなどでご案内いたします。
ご参加お待ちしております！

研修会予定

12月14日（日）	ネットワーク構築事業（石和中央ブロック） 会場：石川県リハビリテーションセンター 4階会議室 担当：地区活性局石川中央ブロック
12月21日（日） 9:30～12:30	管理者育成講座 会場：金沢商工会議所 2階 大会議室 担当：業務推進部
1月25日（日） 午前	腰痛ケアの第1歩～腰痛って案外おもしろいよ！編～ 会場：北陸大学 担当：業務推進部
3月1日（日） 9:00～16:00	第34回石川県理学療法学術大会 会場：北陸大学 太陽が丘キャンパス

人の輪が大事！平時から顔が見える関係性作り

昨年より復興リハビリテーション支援事業が始まり、能登地方において多くの土会会員が活動しています。穴水市における支援事業の実際について、公立穴水病院の理学療法士、中川卓也氏に取材を行いました。今回、被災地の自立へ向けた日々の活動についてお伺いする事が出来ました。

(＊復興リハビリテーション支援事業：被災者の活動支援、自立支援等を目的とした事業)



< アクティビティセンターでの体操の様子 >



< 仮設住宅、集会場での様子 >

*穴水町の復興リハビリテーション

一仮設住宅で行われている見守り支援についてお聞かせください。

中川◆穴水町での見守り支援は、昨年の6月に始まり、仮設住宅にお住まいの65歳以上の高齢の方や、障害手帳をお持ちの方を対象にしました。そうした方々の訪問をし、要支援者を、できるだけ早く見つけてサポートしていました。全532戸の仮設住宅のうち、大体7割から8割くらいの400世帯を、一軒ずつ訪ね、支援が必要な方とか、継続的に見守りが必要な方を把握していましたのが最初のステップですね。

一要支援者は、どういった基準で選定されているのでしょうか？

中川◆仮設住宅でも車いす対応になっていない住宅は、たとえばトイレやお風呂に行くときに、10センチから15センチくらいの段差を必ず越えなきゃいけないんです。その段差を登るのが大変な方や、移動、買い物に行くのが難しい方など—そういう日常生活の中で苦労している方を、

早く見つけるようにしていました。また、介護保険をすぐに使うほどではないけれど、足腰が弱っている方とか、避難所生活が長かったことで体力が落ちている方など、「生活の中で少し支援が必要そうな方」を見つけることを意識して動いていました。

一関係者との連携や、継続的な見守りの体制についてお聞かせください。？

中川◆継続的に見守る必要のある方については、例えば「ふらついて転びそうな方だから、家の中で運動できているか確認してください」「段差の上り下りで膝は痛くないですか？」といったポイントを僕らが指示し、実際の見守りや確認は信頼のあるボランティアさんにお願いする形でスタートし、現在も継続しています。

一コミュニティの場としてのアクティビティセンターについて、教えていただけますか？

中川◆穴水町では、アクティビティセンターを2か所で運営しています。平均年齢がとても高いので、脳の活性化を中心に行い、シルバーリハビリ体操などよりも、少し軽めの体操を提案しています。体を動かすことを必ず取り入れつつ、住民の方が続けやすい形を重視しています。1か所はテレビでYouTubeを流して体操を行ってもらい、もう1か所はカラオケの機械を置いて、炭坑節などの曲で体を動かしてもらう、といった方法をとっています。住民の方が「やりたいな」と思えることを中心にすることで無理に活動するのではなく、継続していくかと思います。そして、今後もよりいっそうの住民の輪ができるようにしたいと思って活動しています。

一活動を始めた頃、どんな思いで取り組んでいましたか？

中川◆一番最初に、うちの部署の川崎から「町内に住んでいて、仮設住宅に住む方の気持ちが一番分かる人が対応したほうがいい」と言われ

* 平時から考える地域づくりと復興リハビリテーション

ました。そこで、「じゃあ僕がやります」となりました。その中で、住民が助けを求めやすい、顔が見える関係を作りたいと思っていました。

はじめから「困っていることはありますか？」と尋ねても、なかなか課題をみつからず、「ないよ、大丈夫だよ」との回答が多いです。顔が見える関係ができて初めて、日常の困りごとや支援の必要性を具体的に聞けるようになり、そこから本格的に復興支援やリハビリ活動を始めることができました。

わたしは発災直後の2月から避難所まわりをしているので、住民さんとも顔の見える関係性がありました。穴水は小さな町なので、当初より関係ができていたので、その後の復興リハビリテーション活動も追加してスムーズに対応できたと思っています。

—活動を通じて感じた重要な事は何でしょうか？

中川◆一番のバリアは、多分「心」だと思います。震災を経験して心が閉じこもってしまう方が多く、その心の壁をどうやって取り払うかが最初の課題でした。

だから、最初に意識したのは「顔

が見える関係」を作ることです。僕たちがどんな人間なのかを理解してもらうために、何度も挨拶したり、話しかけたりしました。私たちが何者なのかを分かってもらうために、「大丈夫ですか？」と声をかけることから始めて、少しずつ会話が生まれ、「困っていることはありますか？」と聞けるようになる。それが、支援につながる第一歩です。

顔が見える関係ができると、生活の中で困っていることも話してもらえるようになりますし、支援もスムーズになります。こうした関係づくりが、活動を進める上で一番大事だと感じています。

—今後の活動についてお聞かせ下さい。

中川◆平時から重要なのは「顔が見える関係」を作ることだと思っています。災害があったから支援を行うのではなく、日常から地域で助け合える関係性や地域を整えておくことが大事です。高齢化率の高い地域では、特にアクティビティセンターに来ない人や男性の孤立が課題になります。

そこで、活動の一環として、センター

で作った折り紙やかご細工、野菜などを販売して、収益をまた活動や備品に回す仕組みを考えています。こうすることで、住民自身が活動を支え、主体的に関わる循環を作ると考えています。

コミュニティを育てる上で、人と人のつながりが何よりも大切だと思っています。私たちにできることは限られていますが、住民の方々を元気にしたいと思い日々活動しています。たとえば、仮設住宅に住む男性限定の料理教室を開催したり、地域のイベントで住民が主体的に参加できる機会を増やすことを考えています。料理教室に関しては5カ所で活動しており、延べ30人ほどが参加しています。さらに、フードアナリストの鈴木亜美さんを招いて料理作り教室を企画するなど、住民が興味を持って楽しめる場づくりも進めています。今後も私たちは住民が少しでも前向きになれるよう、コーディネーター役としてサポートしていきたいと思います

取材：中川、石田



< 先日、地域のイベント復興マルシェを開催 ④中川氏 >

Active

2025 年度理学療法週間事業に参加して

北陸大学 西村 卓朗

令和7年8月31日、アル・プラザ津幡において「腰痛見える化」をテーマに理学療法週間事業が開催されました。本事業では、地域住民を対象に、体成分分析装置による筋量・脂肪量の測定、腰部および骨盤底の超音波（エコー）検査、加速度脈波による血管年齢・自律神経バランスの評価、全身柔軟性の測定などを実施し、その結果に基づいたエクササイズの紹介や日常生活上のアドバイスを行いました。



当日は約60名の地域の方々が参加され、測定結果を通じて自身の身体の状態を確認し、日常生活での健康管理への関心を高めていました。参加者からは「専門的なアドバイスを直接受けられて良かった」「自分の姿勢や筋肉の状態を知るきっかけになった」といった声も多く寄せられました。

今回の活動を通じて、理学療法士が地域の健康づくりに果たす役割の重要性を改めて感じるとともに、地域住民の健康意識向上に貢献できる有意義な機会となりました。今後も地域に根ざした活動を継続し、理学療法の魅力と実践的価値を広く発信していきたいと考えています。



左：全身柔軟性の測定、右：超音波（エコー）評価

第46回健康づくりフェアに参加して

宗広病院 多田 宗生

この度、令和7年9月27日、28日に開催された、第46回健康づくりフェアに石川県理学療法士会の一員として参加させていただきました。この会は、金沢・健康を守る市民の会が主催されており、医師会や理学療法士会など30もの団体が共催している大きなイベントです。



今年は『負けない体を作ろう、食・運動・睡眠で免疫力アップ』をテーマに各団体がそれぞれのブースで来場の方々の身体機能をチェックしたり、健康相談を受けたりと、とても活気のあるイベントでした。理学療法士会は北陸大学の協力の元、7つの項目（自律神経、体組成、柔軟性、膝伸展筋力、立ち上がり動作チェック、AGEs、質問紙）のチェックを行いました。2日間合わせて100名を超える方に来場していただき、立ち上がり動作チェックを担当していた私は、デモで立ち座りを繰り返し、久々の筋肉痛になりました。

令和10年度までは施設の建て替え工事の為、イベントは休止の予定です。また再開された際には、地域の方とふれあえるまたとない機会ですので、県士会の皆様にもぜひとも協力をお願いしたいと思います。

令和7年度臨床実習指導者講習会に参加して

千木病院 高松 大鷹

この度、令和7年10月4日、5日に金沢大学にて開催されました令和7年度臨床実習指導者講習会に参加させていただきました。



臨床実習指導者講習会ではハラスマント防止意識の向上や臨床実習の到達目標、臨床実習プログラムの立案に対する講義や演習を行いました。演習は7人のグループで行い進行係、記録係、発表係、タイムキーパーの役割を分担しながらグループで討議をし成果物を作成しました。グループ討議では職場や年代の違うセラピストの意見を聞くことができ、自分にはない考え方を学ぶことができる貴重な場になりました。

臨床実習プログラムを立案する演習では、多様な疾患を経験できること、実習時間内で行うための工夫などを検討しながらディスカッションを行いました。その中でも学生の成長を促すための段階的なプログラムを立案することが重要だと感じました。学生の特徴を把握しながら個人の性格や学力に合わせたプログラムを立案しその都度修正していく必要があることを学べました。

今回の指導者講習会で学んだことを職場で共有しながらより良い指導が行えるよう取り組んでいきます。

自由投稿

第5回いしかわ福祉水泳記録会に参加して

社会事業局長兼理事（スポーツ障害予防事業）

成宮 久詞

令和7年9月28日に、第5回いしかわ福祉水泳記録会が小松屋内プールで開催され、参加してきました。参加者は29名と多くの選手が参加していました。

当日の仕事は、主にアップや記録会で泳ぎ終えた後、退水（プールから上がる）する際の補助や案内を行いました。肢体不自由や知的障害などの障害特性のある選手の皆さんに、日頃の成果を発揮され、一生懸命に泳いでいる姿はとても元気をもらえるものでした。選手が目標の記録や成果を発揮できるよう支援することは、非常に重要だと考えています。今回、参加している選手の中には、第24回 全国障害者スポーツ大会（滋賀開催）の水泳競技で、金メダルを獲得した選手も参加していました。これは、日頃から指導されているコーチと選手の努力によるものと強く感じており、刺激を受けました。

私自身は、記録会だけでなく、ダウン症親子水泳教室にも参加させていただき、ダウン症や知的障害のお子さんと関わる機会もあります。参加者の中には、日頃のお子さんへの関わりの中で、どうやって身体能力を伸ばしていくのか、運動機会を作っていくのか、生活の注意点は…と、さまざまに悩んでおられる保護者の方もいます。その中で、理学療法士として、少しでも選手や保護者の支えとなればと考えています。そこで、会員の方にはまずプールへ足を運んでいただき「障がいのある方が水泳に取り組んでいる現場の雰囲気」に触れていただければと思います。一度見ていただくことで、障がい者スポーツの現状や雰囲気を理解いただける機会になると考えています。

当事業部としては、パラスポーツ支援の幅を広げられるよう取り組みたいと考えています。一緒に盛り上げていただける方はぜひご協力ください。また、少しでも現場を見たい方、またはお力添えをいただける先生方は、ご連絡いただければ幸いです。よろしくお願いします。



賛助会員名簿

【2025年10月27日現在】

- A 会員 -

施設名	郵便番号	住所	TEL
金城大学	924-8511	白山市笠間町1200	076-276-4400
社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院	926-8605	七尾市富岡町94	0767-52-3211
北陸大学	920-1180	金沢市太陽が丘1-1	076-229-1161

- B 会員 -

専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー	921-8032	金沢市清川町2-10	076-280-8151
国際医療福祉専門学校七尾校	926-0816	七尾市藤橋町西部1	0767-54-0177
医療法人社団橘会 整形外科米澤病院	920-0848	金沢市京町1-30	076-252-3281
特定医療法人社団 勝木会	923-8551	小松市八幡イ12-7	0761-47-1212

- C 会員 -

医療法人社団慈豊会 久藤総合病院	922-0024	加賀市大聖寺永町イ17	0761-73-3312
医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院	920-8621	金沢市小坂町中83	076-252-2101
医療法人社団 有川整形外科医院	924-0882	白山市八ツ矢町232-2	076-275-7500
石川県リハビリテーションセンター	920-0353	金沢市赤土町ニ13-1	076-266-2860
社会福祉法人恩賜財団 済生会 石川県済生会金沢病院	920-0353	金沢市赤土町ニ13-6	076-266-1060
医療法人社団映寿会 映寿会みらい病院	920-8201	金沢市鞍月東1-9	076-237-8000
金沢医科大学病院	920-0293	河北郡内灘町大学1-1	076-286-3511
公益社団法人石川労働者医療協会 城北病院	920-8616	金沢市京町20-3	076-251-6111
日本赤十字社 金沢赤十字病院	921-8162	金沢市三馬2-251	076-242-8131
医療法人社団博友会 金沢西病院	920-0025	金沢市駅西本町6-15-41	076-233-1811

－C会員（続き）－

施設名	郵便番号	住所	TEL
医療法人社団 浅ノ川 金沢脳神経外科病院	921-8841	野々市市郷町 262-2	076-246-5600
独立行政法人地域医療機能推進機構 金沢病院	920-8610	金沢市沖町ハ15	076-252-2200
医療法人社団 下崎整形外科医院	924-0802	白山市専福寺町 158-3	076-274-5000
市立輪島病院	928-8585	輪島市山岸町は1番1地	0768-22-2222
珠洲市総合病院	927-1213	珠洲市野々江町ユ部 1-1	0768-82-1181
医療法人社団 竜山会 金沢吉府記念病院	920-0362	金沢市吉府 1-150	076-240-3555
医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院	923-1226	能美市緑が丘 11-71	0761-51-5551
医療法人社団瑞穂会 みづほ病院	929-0346	河北郡津幡町字潟端 422-1	076-255-3008
医療法人社団さくら会 森田病院	923-8507	小松市園町ホ99-1	0761-21-1555
社会福祉法人徳充会 青山彩光苑	926-0831	七尾市青山町ろ部 22番地	0767-57-3309
株式会社 金沢義肢製作所	920-0935	金沢市石引 1-11-6	076-231-3328
株式会社 濟世館	920-0944	金沢市三口新町 2-2-25	076-231-7284
有限会社 丸山義肢製作所	920-1167	金沢市もりの里 2-32	076-222-1068
セントラルメディカル株式会社	920-0024	金沢市西念 3-1-5	076-262-1111
株式会社 トミキライフケア	920-0061	金沢市問屋町 2-74	076-237-0708
石川県理学療法士連盟	920-8204	金沢市戸水 1-25	076-254-1431

マイページの内容に 変更ございませんか？

本会では会員の皆さまのマイページ登録情報（発行日の前々月末時点）をもとに士会郵送物の発送を行っております。

ご所属先やご住所等に変更ございましたら、出来るだけ速やかに会員各自でマイページに登録されている情報の修正をお願いします。

登録されている情報の修正は、日本理学療法士協会ホームページ内の【マイページ】にログインすることにより可能です。

お手数をおかけしますが、何卒ご協力を
お願ひいたします。

問い合わせ先

公益社団法人石川県理学療法士会事務局
〒920-8204 石川県金沢市戸水1丁目25
TEL: 076-254-1431
FAX: 076-254-1432
E-mail: info@ishikawa-pt.com

県士会ニュース

求人広告についての おしらせ

－広告料金－

1／8 ページ	5,000円
1／4 ページ	10,000円
1／2 ページ	20,000円

求人広告については、下記へお問い合わせ下さい。

〒924-8511 石川県白山市笠間町 1200
金城大学 医療健康学部 理学療法学科
山本 拓哉
TEL: 076-276-4400
E-mail: yamamoto@kinjo.ac.jp

－自由投稿募集－

県士会ニュースでは、みなさんの投稿による自由投稿枠を設けています。内容は問いません。意見、質問、表紙に相応しい写真などなんでもOKです。

投稿希望の方は下記まで、まずご連絡ください。

投稿〆切は5・8・11・2の各月の1日となっております。沢山の投稿をお待ちしております。

医療法人社団 和楽仁 芳珠記念病院

〒923-1226 石川県能美市緑が丘11丁目71番地

電話: 0761-51-5551 / email: houju.education@gmail.com 中川 允

❀❀ 編集後記 ❀❀

今秋は熊の情報が多く、石川県でも目撃情報が多く寄せられていましたね。多くの情報から判断することでどのように行動すべきか考えることも大切だと思いながらニュースを見ていました。日々の情報を大切にして過ごしていきたいものです。

発行：公益社団法人 石川県理学療法士会 編集：事務局メディアネットワーク部

山本 拓哉 石田 勝也 岩佐 和明 神谷 晃央 澤田 康平
坂下竜之助 横田 文子 北山 彩香 中川 允 吉嶋ほのか



石川県理学療法士会公式 LINE



石川県理学療法士会 HP

